

田沼意次侯生誕300年 2019年度記念事業が固まる

田沼意次情報は
こちらから!



意次ドットコム

<2019年度の主な記念事業>

名称	事業概要	実施時期
(1) 景観プロジェクト 意次侯の功績や領地として選ばれた地域であることなどを「見える化」し、市内外の多くの方に知らしめることで、市民の誇りの醸成や牧之原市の知名度の向上を図る。		
田沼意次侯銅像建立事業	意次侯の功績を後世に伝え、ゆかりの地に住む市民の誇りを醸成するため、募金による建立を目指す。	概ね3カ年
(2) 功績の顕彰プロジェクト 意次侯の功績や関連文化財の評価及び顕彰を行い、その偉業を学ぶことで、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民の郷土愛を醸成する。		
「相良城跡」発掘調査事業	二の丸土塁・堀跡の発掘を行い、学術調査、絵図等の比較検証を実施する。 (現地調査、小学生体験、見学会)	夏か秋
城郭研究者トークショー	勝間田城址祭との合同企画として、周辺に所在する城について、有名タレントを迎えてトークショーを開催する。	秋
市史料館特別展「大意次展」	田沼意次侯をテーマとした展示会を開催する。直筆書状3点など多数の資料展示を予定している。	10月中旬～ 12月上旬
田沼意次侯功績顕彰式典	歴史演説、記念講演、シンポジウム、竹灯ろうを実施、一大顕彰式典を開催する。	11/16(土)
(3) 情報発信プロジェクト 意次侯に関連した情報を市内外に広く発信するとともに、意次侯の革新的な発想をまちづくりに取り込んでいく。		
オリジナル記念切手の制作、販売	オリジナルフレーム切手を制作し、田沼ゆかりの地と功績を広くPRするとともに、形に残るものとする。	6月上旬～
首都圏におけるプロモーション活動	東武トップツアーズ(株)との包括連携協定を活用し、スカイツリーや東武線沿線にてプロモーションイベントを行う。	未定
田沼意次侯大河ドラマ化推進事業	生誕300年を契機に、意次侯の功績顕彰、イメージアップと市の知名度向上を目的に、NHK大河ドラマ化を推進する。	5月～
(4) 産業活性プロジェクト 意次侯の歴史的魅力をさらに磨き上げ、意次侯の政策的発想なども取り入れた特産品の開発・PRに取り組み、地域産業・経済活動の活性化を促進する。		
田沼意次侯生誕300年記念大祭	市産業フェアを御城下風に装飾し、かつての賑わいを創出、ステージの催し物や会場での物産販売等を行う。	11/17(日)
田沼意次侯商品開発事業	「田沼」をコンセプトとした独自の商品開発に取り組み、商品化して販売する。	5月～
(5) 観光交流プロジェクト 意次侯を有用な地域資源として捉え、関連イベントなどを開催することで、全国から観光誘客を図り地元消費を促進する。		
ぶらり田沼の旅(静岡ステイションキャンペーン連動企画)	学芸員の解説付きで古絵図を見ながら田沼ゆかりの地を巡るとともに、寺院などで什物の特別公開を行う。	5/3(金・祝) 5/19(日) 6/9(日)
田沼意次侯大名行列	生誕300年記念大祭に合わせ、旧城下町を仮装した大名行列が練り歩く。	11/17(日)

田沼意次侯生誕300年にあたる2019年度の記念事業が固まりました。意次侯を活かしたまちづくり戦略「田沼再興戦略」に掲げる5つのプロジェクトに基づき、市をあげて功績の顕彰、地域活性化をさらに加速させていきます。個々の事業については、実施の都度、「意次通信」や「意次ドットコム」サイトなどで詳細内容をお知らせします。100年に一度の記念すべき節目の年を大いに盛り上げ、大勢でお祝いしましょう。そして、100年後の生誕400年に語り継がれるものにしていきましょう!

「田沼再興戦略」に掲げる5つのプロジェクトに基づき、功績の顕彰、地域活性化をさらに加速

意次侯の功績を伝える作品 高校生の活躍で相次いで完成

相良港防潮堤の壁画 相良高美術部と市民有志が修復

相良港防潮堤の壁画は、意次侯の生誕300年を記念し、相良高校美術部の生徒と地元で屋外広告物業を営む(株)彩巧社の小原義夫さんから市民有志との協働により修復を進めてきました。

田沼意次侯を題材とした、高さ約3m、全長約76mの壁画は、20数年が経過して色褪せていましたが、このたびの修復できれいに塗装され、意次侯の肖像画など、一部のデザインは新しいものに書き換えられました。

そして、3月15日、関係者が出席し壁画の除幕式が執り行われました。

壁画は、「田沼のまち 牧之原市」を象徴するシンボルの一つとして大切にしていきたいです。



意次侯の壁画の前で完成を喜ぶ相良高校美術部生徒と小原さん

読み聞かせ大型紙芝居 榛原高美術部と市民有志が制作



紙芝居を手にとり完成を喜ぶ榛原高校美術部生徒と関係者

大型紙芝居は、榛原高校美術部の生徒と図書館ボランティア、シナリオ制作に協力した市民有志との協働により制作されました。

縦約50cm、横約80cmの紙12枚を使って作られた紙芝居は、意次侯の功績や人柄などを紹介する内容となっており、3月15日、図書館ボランティア団体の3名の代表による朗読で初披露されました。

この大型紙芝居は、4月中旬から相良図書館で貸し出しを始め、図書館でのお話会や小学校での読み聞かせなどで活用されます。紙芝居は、意次侯の功績などを語り継ぐツールの一つとして大切にしていきたいです。

NHK大河ドラマの時代考証から 田沼意次侯の評価について学ぶ



講演する東京学芸大学の
大石 学教授

田沼意次侯生誕300年記念事業の一環で、東京学芸大学の石学教授を講師に招いた講演会「田沼意次の虚像（フィクション）と実像（リアル）」が開かれました。

意次は、賄賂による悪徳政治家という見方と、幕府財政を立て直した改革者との見解が混在し、評価も時代ごとに変遷していることを解説。「悪徳政治家か改革者かの議論に執着するよりも、意次が思い描いた日本、国づくりを考えてもらいたい」と話してくれました。

読んで学ぼう！意次書籍コーナー

「田沼意次 その虚実」

後藤一朗 著、清水書院 出版



田沼意次と言えは「賄賂政治家」。これは、反体制権が残した史料による虚像に過ぎない。

この田沼の冤罪をすくぐことに情熱を燃やす著者は、悪人田沼像を否定し、新たな像を呈示しています。

田沼意次から松平へ、一連の政権交代の真相を一徳川家お家騒動Ⅱ「橋幕府節」として論証した大胆な書です。